

平成28年度9月第2次補正予算案

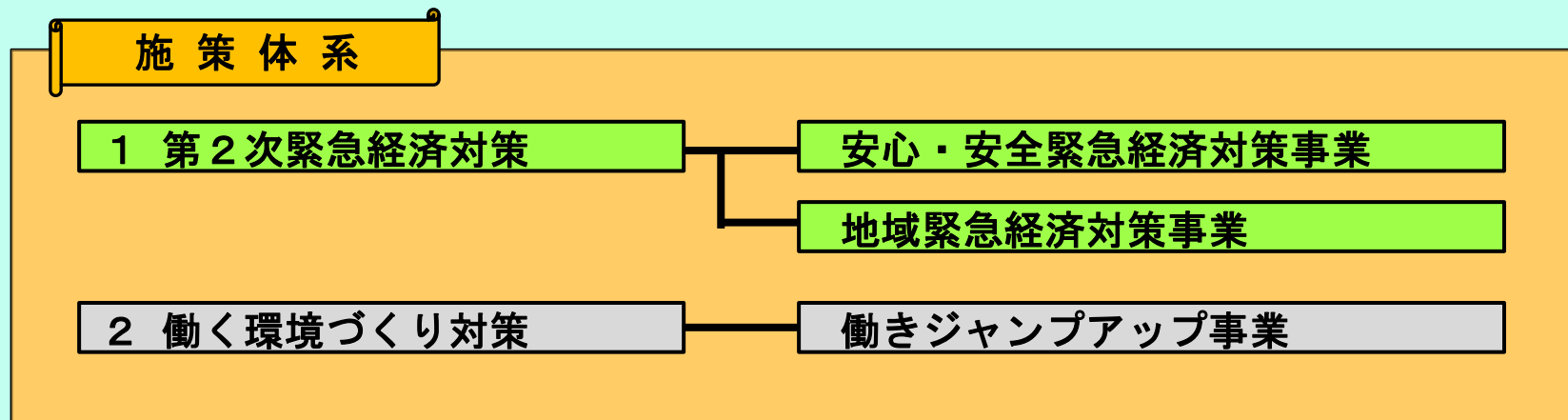


京 都 府



補正予算の基本方針

- ◆ 9月定例府議会においては、共生社会の実現や安心・安全の充実とともに、国経済対策に先行して伝統産業支援を内容とした第1次緊急経済対策の補正予算を編成（9／30議決済）
- ◆ 今回、国補正予算が成立したことを受け、経済対策として国補正予算を織り込んだ第2次補正予算を編成
 - ▶ まず、第2次緊急経済対策として、安心・安全対策、中小企業支援、農林水産業振興、生活交通基盤整備などを中心に予算を編成
 - ▶ さらに、中長期的観点から、働く環境の整備についても予算を編成
- ◆ 今後も、調整状況に応じて、次なる経済対策予算を編成していく考え



第2次緊急経済対策



安心・安全緊急経済対策事業①

～ 府民の生命と財産を守る事業を前倒し ～

総合治水緊急事業費

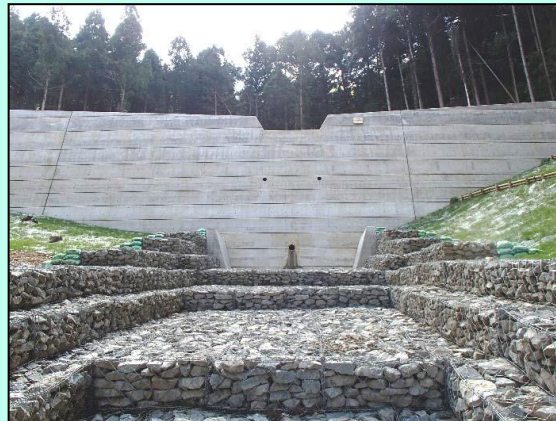
7,190 百万円

約72億円規模

- H24～H26の3年連続の豪雨災害を踏まえ総合的な治水対策を前倒し
 - ▶ 国直轄河川(由良川・桂川)や府管理河川(鴨川・古川等)の治水対策を推進
 - ▶ ため池の決壊防止、森林の保水機能の確保対策等を強化
 - ▶ 浸水被害防止・軽減に向けて「いろは呑龍トンネル」の整備を推進



由良川



治山ダム



いろは呑龍トンネル



安心・安全緊急経済対策事業②

～ 府民生活に密着した施設の安全対策を強化 ～

生活関連施設安全対策事業費（１）

【医療・社会福祉施設安全対策】

新 社会福祉施設等安全対策事業費

178 百万円

- 非常通報装置や防犯カメラの設置、門扉改修等の安全対策を強化

民間社会福祉施設

希望する全施設で対策実施

- ▶ 全施設（児童及び障害者施設の入所・通所施設）の意向を確認し実施
特に入所施設について府内全施設の整備に対応可能な予算額を準備

府立施設

全施設で対策実施

- ▶ 府立施設（社会福祉施設・医療施設・特別支援学校）において安全対策を実施

新 医療施設等防火対策推進費

62 百万円

- 医療施設や社会福祉施設等に対し、スプリンクラー等の設置を支援



安心・安全緊急経済対策事業②(続き)

～ 府民生活に密着した施設の安全対策を強化 ～

生活関連施設安全対策事業費 (2)

【耐震対策】

私立学校施設等耐震強化事業費

174 百万円

- 私立の幼稚園、小・中学校、高等学校が実施する耐震強化対策を前倒し 等

鉄道施設耐震強化事業費

35 百万円

- 鉄道事業者が実施する高架橋柱の耐震強化整備への支援

【鉄道施設安心・安全対策】

事業完成が1年前倒し(③2→③1)

まちづくり一体型西院駅整備促進事業費

100 百万円

- 生活支援機能施設(保育施設など)を併設予定の阪急西院駅及び京福西院^{さい}駅整備に対する支援

→ 駅舎バリアフリー化と府民の利便性向上を早期に実現

鉄道設備等安全性向上事業費

240 百万円

- 鉄道事業者が実施する線路耐久性向上、ホーム老朽化対策等への支援



安心・安全緊急経済対策事業③

～ 地域での自立を支援し、安心・安全な共生社会を実現 ～

共生社会実現事業費

930 百万円

- 障害のある方や児童の自立支援のための社会福祉施設の整備に対する支援

障害者グループホームの整備等を支援 【9施設】

- ▶ 障害のある方が地域の一員として暮らす共生社会の実現に向け、住宅地への設置も多く、より地域に身近な施設であるグループホーム整備を進める
(負担割合 国1/2 府1/4 事業者1/4)

児童養護施設における大部屋の小規模化を支援 【1施設】

- ▶ 要保護児童の自立支援に向け、より実際の家庭に近い養育環境を実現するため、小規模のグループケアを進める
(負担割合 国1/2 府1/4 事業者1/4)



安心・安全緊急経済対策事業④

～ 原子力災害時における府民の安全確保に万全を期す ～

新 原子力災害対策施設等整備事業費

696 百万円

要配慮者避難体制整備費

- 屋内退避施設の放射線防護対策の実施（3施設）

避難施設環境整備費

- 原子力発電施設近隣住民の一時的な退避施設（集会所等）の備品等整備に対して支援

補助対象	避難生活や情報収集に必要な備品等（水・非常食、冷蔵庫、テレビ等）
負担割合	京都府 1 / 2 舞鶴市 1 / 2

避難路整備調査費

- 避難路の効果的な整備に向けた調査を実施
 - ▶ 避難路の整備箇所、工法等の調査及び整備効果のシミュレーション 等



地域緊急経済対策事業①

～ 中小企業者に対する支援を強化 ～

新 中小企業緊急経済対策事業費（1）

中小企業経営力強化事業費

160 百万円

約2億円規模

- ソフト・ハード両面から中小企業の経営力強化を支援し、国の経済対策（約24億円）との相乗効果により地域経済を支える中小企業の底上げを図る
 - ▶ 経営計画策定、計画のフォローアップ（専門家等による徹底サポート）及びその計画に基づく生産性向上に資する設備投資等への支援

補助率	小規模企業 2 / 3 中小企業 1 / 2
補助上限	3, 0 0 0 千円

→国経済対策の採択状況も見ながら、積極的に経営改善策を立てる中小企業を手厚く支援

「京都ほんまもん祭」開催事業費

17 百万円

「京都ほんまもん祭」開催支援事業費

【約15箇所】

- ▶ 農商工連携による消費喚起イベントの開催に対する支援

「京都ほんまもん祭」商店街活性化支援事業費

【約10箇所】

- ▶ 商店街が行う地域資源（文化（祭り）や特産品（茶）等）を活かした売上向上策に対する支援



地域緊急経済対策事業①(続き)

～ 中小企業者に対する支援を強化 ～

新 中小企業緊急経済対策事業費 (2)

陶磁器等工芸産地特別支援事業費

25 百万円

伝統産業関連緊急経済対策 第1次補正「織物」 → **第2次補正「陶磁器等工芸」**

- 陶磁器等工芸業界の生産基盤整備を支援し、マーケットイン型の産業へ転換

陶磁器等工芸産地基盤整備事業費

- ▶ 生産設備の改修及び道具類の確保等に対する支援

補助率等

補助率：1/3以内 補助上限額：2,500千円

新たな陶磁器づくり支援事業費

- ▶ 「職人工房・清水」に3Dプリンターを整備し、マーケットニーズに対応した生産体制確立をサポート



地域緊急経済対策事業②

～ 農林水産業の体質強化対策を充実 ～

新 農業生産強化緊急対策事業費

1,840 百万円

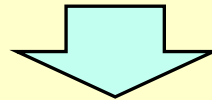
約18億円規模

- の
- 「KYO農食材御用聞き」(28新規)の活動成果を踏まえた生産力強化策を緊急実施

78社からオーダー

<企業からのオーダー例>

- ▶ 京都産の聖護院かぶのみを使用して千枚漬けにしたい
- ▶ 味噌加工用に安価で多収性の米(府内で未使用の品種)がほしい
- ▶ 府内産とうがらしでスパイスを作りたい



- ニーズに合致した「売れるモノづくり」をハード・ソフト両面で支援
 - ▶ 基盤整備(区画整理、農作業道整備、暗渠排水工 等)
 - ▶ 設備整備(農業用機械・施設の整備支援)【補助率50/100~54/100】
 - ▶ 中山間地域の所得向上に向けた計画策定(施設等整備計画、販売戦略)
 - ▶ 若手農業者の交流会開催、「京都農人材育成センター」への助言者(チューター)配置



地域緊急経済対策事業②(続き)

～ 農林水産業の体質強化対策を充実 ～

農林水産業基盤整備事業費

2,607 百万円

約26億円規模

- 生産・出荷コストの低減や品質向上につながる基盤施設・設備等の整備
 - ▶ 畜産業関係：堆肥舎等整備
 - ▶ 林業関係：木材製材施設の整備 【補助率50/100～55/100】
 - ▶ 水産業関係：製氷貯蔵施設等の整備
- 海外展開を含め、多様なニーズに対応する流通拠点の基盤強化
 - ▶ 京都市中央卸売市場第二市場の整備

茶業研究所機能強化事業費

62 百万円

- 企業・大学との連携強化による新品種育成や技術高度化のための設備等を整備
 - ▶ てん茶の品質向上技術確立のためのてん茶炉の整備
「お茶の京都」交流施設である「茶畑ハウス(四阿)^{あずまや}」の整備 等
→本館完成予定である29年秋を目指して実施



地域緊急経済対策事業③

～ ひと・ものの交流を活発にする基盤整備をスピードアップ ～

生活・交通基盤緊急整備事業費

4,654 百万円

約46億円規模

● ひと・ものの交流の要となる道路整備等を推進

▶ 高速道路へのアクセス強化

(国道24号(寺田拡幅(城陽市))、国道27号(西舞鶴道路)(舞鶴市)など)

▶ 地域の中核都市間ネットワークの強化

(国道477号(西田大藪道路(南丹市))、東中央線(木津川市)など)



建設中の城陽ジャンクション



東中央線



地域緊急経済対策事業④

～ 府内各地で観光客受入環境を整備 ～

観光誘客受入整備事業費

倍以上

新 京都舞鶴港ゲートウェイ機能強化事業費（一部再掲） 430 百万円

▶ 平成29年度のクルーズ寄港回数が大幅に増加

→ 平成28年度「17回」 → 平成29年度「38回」（予定）



● 寄港増加に対応するため、ハード・ソフト両面から利用者の利便性・快適性・満足度向上のための事業を緊急実施

クルーズ客受入環境の整備

▶ 第2ふ頭の屋根付き通路整備、上屋の美装化、岸壁改修工事（国直轄）、多言語表記案内板の設置 等

金沢港との合同PRイベントの実施

▶ 3大都市圏（東京、大阪、名古屋）で金沢港との共同観光PRを実施
京都府、舞鶴市、石川県、金沢市で共同実施

おもてなし（和装体験）の充実

▶ 観光客向けに日本文化に触れる和装体験の実施
京都府、舞鶴市で共同実施



地域緊急経済対策事業④(続き)

～ 府内各地で観光客受入環境を整備 ～

観光誘客拠点整備事業費

丹後七姫劇団も活躍

新「丹後王国」食と文化・観光交流拠点整備費

30 百万円

- 異業種交流や北部観光の拠点としての整備を推進
 - ▶ 多目的交流ホール(大型テント)の整備支援
 - ▶ 観光拠点としての機能強化(厨房・保冷機器等)



京都やましろ茶いくるライン整備費

200 百万円

全長約90km

- 「お茶の京都」のターゲットイヤーに向け、拠点施設や日本遺産の美しい景観を巡るサイクリングコースを整備
 - ▶ サイクリングコース誘導整備、案内看板設置等
 - ▶ テーマ性を持ったモデルコースを設定予定



働く環境づくり対策



働きジャンプアップ事業①

～ 働く女性の応援と子育て支援 ～

新 女性の働く環境づくり支援事業費

20 百万円

働きやすい環境づくりに対する支援

- ▶ 働きやすい職場環境整備の取組への支援

<事業支援>

支援取組例	・在宅勤務導入のためのセキュリティソフトの導入 ・長時間労働削減ガイドブックの作成 等
支援額	10万円/1社 × 50社

- ▶ ワークライフバランスに関する専門家を派遣

<人的支援>

→計画策定作業の支援及び取組に対するフォローアップを実施

中小企業の事業主行動計画策定を支援

- ▶ 女性活躍支援マネージャーを9名増員(20当初1名→10名)し、従業員100人～300人の企業780社全社を訪問
→780社のうち、500社の計画策定を目指す

今年度中に対象となる全社を訪問

オール京都体制でシンポジウムを開催

府市協調

- ▶ 輝く女性応援京都会議と日本青年会議所が主催(平成28年12月開催予定)



働きジャンプアップ事業①(続き)

～ 働く女性の応援と子育て支援 ～

拡 保育人材活躍サポート事業費

297 百万円

待機児童の解消に向けて

- 潜在保育士等の就業を支援するため保育士就職準備金等貸付事業を拡充

潜在保育士再就職準備金の貸付額を倍額へ引き上げ

(現行) 【貸付額】 20万円 → (拡充後) 40万円

※再就職後2年以上勤務した場合は返還免除

保育補助者の雇上費用の対象を拡充し事業者に貸し付け

(現行) フルタイム補助保育者のみ → (拡充後) 短時間勤務保育補助者を追加

【貸付額】 年額221.5万円 (最大3年間貸付)

※当該保育補助者が原則3年以内に保育士資格を取得した場合は返還免除

未就学児を持つ保育士に対する子どもの預かり費用に係る貸付内容の追加

(現行) 保育料のみ → (拡充後) ファミリーサポートセンター及びベビーシッター利用料を追加

【貸付額】 事業利用料金の半額 (最大2年間貸付)

※2年以上勤務した場合は返還免除



働きジャンプアップ事業①(続き)

～ 働く女性の応援と子育て支援 ～

放課後まなび教室充実費

5 百万円

- 市町村が実施する放課後まなび教室（京のまなび教室）と放課後児童クラブの一体型運営（学校敷地内等）の推進に必要な初度備品に対する助成

補助対象	府内の小学校 8市町(12教室) 綾部市、宇治市、向日市、八幡市、木津川市、大山崎町、井手町、精華町
補助率	補助率：10/10 (全額国庫)
対象内容	ICTを活用した学習支援を実施するための備品等 (パソコン等)

放課後まなび教室（京のまなび教室）

- <対象児童> 希望するすべての児童
- <実施内容> 学習支援、体験やスポーツ活動など
- <開設時間> 授業終了後～概ね17時

府内実施数：78教室、20市町村

放課後児童クラブ

- <対象児童> 共働き家庭などの児童
- <実施内容> 宿題、遊びなど自主的活動の支援
- <開設時間> 授業終了後～概ね19時

府内実施数：308、全市町村

→ 府内(78教室)の半数以上が一体型へ(29教室(28.8末) → 41教室)

そ の 他



そ の 他

～ 文化財の保存修理を更に推進。貴重な文化資源としても活用 ～

文化財保存活用事業費

425 百万円

- 府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理するとともに、貴重な文化資源として活用するための対策を緊急実施

所有者からの受託による文化財建造物の保存修理

- ▶ 本隆寺(本堂他)、松尾大社(本殿)、曼殊院(本堂他)、大徳寺(寢堂)、杉本家住宅 計5件

新 文化財緊急活用事業費

- ▶ 保存修理の成果を全ての人が享受するための環境整備等を実施

補助内容	・ 障害者や高齢者等の文化財見学のためのバリアフリー化 (仮設スロープ、点字版パンフレット、音声ガイド機器 等) ・ 文化財の解説板の作成 等
補助率等	補助率： 1 / 2 以内 補助上限額： 1, 0 0 0 千円
補助対象	今回補正対象文化財 5件



予算案の規模

平成28年度 現計予算

一般会計	<u>966,259</u>	百万円
特別会計等	<u>317,101</u>	百万円
全会計合計	<u>1,283,360</u>	百万円

平成28年度 9月第2次補正予算

一般会計	<u>18,437</u>	百万円
特別会計等	<u>1,812</u>	百万円
全会計合計	<u>20,249</u>	百万円

合計

一般会計

984,696 百万円

対前年9月補正後比較

(101.6%)